

社会福祉学科 介護福祉専攻 2年 前期 総合科目

1. 生と死の倫理学
2. 職業選択と自己実現
3. 臨床美術の実践 I

社会福祉学科			介護福祉 専攻		
科目名: 生と死の倫理学				担当教員 氏名: 境 美代子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討しながら、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心がまえを学習します。とりわけ、他者の「人生という物語」を共感しながら理解する態度・姿勢を身に着けてもらい、福祉・介護関連の仕事に携わる意欲(使命感)を高めてもらいます。					・道徳と倫理 ・地域共生社会 ・幸福度 ・尊厳と自立 ・インフォームドコンセント ・生命倫理と医療倫理
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 10	
A 知識・理解力	人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。				
C 論理的思考力	何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。				
D 問題解決力	医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を検討する。				
F チームワーク・リーダーシップ	事例検討を通じて多職種連携の重要性を理解し、連携に必要な協調性を涵養する。				
G 倫理観	医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート: 40 %	発表: 40 %	実技試験: 0 %	その他: 20 %
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)を実施します。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 デスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間で課題レポートによる評価を実施する。グループによる演習、発表をし、最終課題レポートにより成績評価とする。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントにより各自に返却する					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①[導入1]倫理の探求と幸福の追求			{予習}講義概要を熟読しておく。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}20分 {復習}40分	
②[導入2]人間の尊厳と人権の尊重			{予習}予習用資料を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
③[導入3]人間の脆弱性と統合性			{予習}予習用資料を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
④コメディカルの生命倫理			{予習}小テストの準備、テキストの熟読。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}70分 {復習}20分	
⑤いのちの誕生における倫理的課題			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑥いのちの誕生における倫理的課題			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑦いのちの誕生における倫理的課題			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑧インフォームドコンセント; 事例によるグループ学習			{予習}小テストの準備、テキストの熟読。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}70分 {復習}20分	
⑨臓器移植に関する倫理			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑩高齢者医療における倫理的課題(その1)事例による分析			{予習}小テストの準備、テキストの熟読。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}70分 {復習}20分	
⑪高齢者医療における倫理的課題(その2)事例による分析			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑫死に関連する倫理的課題			{予習}小テストの準備、テキストの熟読。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}70分 {復習}20分	
⑬尊厳死と安楽死			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
⑭児童虐待と生命倫理;			{予習}小テストの準備、テキストの熟読。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}70分 {復習}20分	
⑮発達障がい・LGBTと生命倫理; [まとめ]〈生と死の倫理学〉と福祉・介護			{予習}テキストの指定範囲を熟読する。 {復習}講義資料のポイントを整理する。	{予習}50分 {復習}40分	
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10:4779512212)			その他参考文献など: 介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新 介護福祉士養成講座 1)』(中央法規出版、2019)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 生と死をめぐる現代の諸問題と一緒に考えて、倫理的感受性を少しでも高めて、倫理的行動はできる人に成長してほしいと思います。					

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 職業選択と自己実現				担当教員 氏名: 車 吉章					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 通常業務(放送アナウンス)を通じ、人のかかわり方、コミュニケーション方法、技術について教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
自己の気づきをしながら、自らの能力と社会での活かし方を学ぶ。					自己探求				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
E 自己管理力			コミュニケーション実践を通じて自己発見、自己理解。						
F チームワーク・リーダーシップ			グループワーク実践を通じて「積極性」を身につける。						
H コミュニケーション力			各実践を通じて社会人としての自覚を意識する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト: 20 %		レポート: 10 %		発表: 30 %		実技試験: 40 %		その他: %	
特記事項: コミュニケーション実践などを取り入れた授業の中で自らを見つめ発見していく。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各テーマごとに試験などを実施していく。									
授 業 計 画									
				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①講師自己紹介、コミュニケーション実践の体験				グループワーク	90分				
②受講にあたっての注意事項、マナー実践				あいさつ実践	90分				
③履歴書の作成実践				履歴書の作成	90分				
④履歴書の作成実践(ポイントテクニック)				履歴書の作成	90分				
⑤履歴書の作成実践				履歴書の作成	90分				
⑥自己探求				サクセスストーリー作成	90分				
⑦自己探求(時間)				実生活の自覚	90分				
⑧コミュニケーション実践				仲間とのコミュニケーション	90分				
⑨コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑩コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑪コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑫コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑬コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑭コミュニケーション実践				グループワーク	90分				
⑮模擬面接試験				テスト	90分				
使用テキスト: 講師側で準備				その他参考文献など:					
時間を守る、挨拶、面接試験でのテクニックなどを実践通じて学んでもらいます。一部外部のプロフェッショナルを招いたり体感重視です。									

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 臨床美術の実践 I				担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択	臨床美術士4級			
実務経験を用いてどのよう臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士として福祉施設での臨床美術の実践経験を生かし、造形素材の理 うな授業を行っているか: 解やアートプログラムの実践力の向上、福祉施設でのアート活動の実施に向けて授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
臨床美術士として、アートプログラム制作を通して造形的な技術・技法を習得すると共に、そ れを用いて主体的にロールプレイングや現場実習などアクティブ・ラーニングすることによ って福祉施設などでアート活動を行うための実践力を身に付ける。					・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 8				
A 知識・理解力			右脳の活性化と認知症について理解することができる。						
B 専門的技術			状況や関係を把握して様々な素材の使用法や表現技法を習得する。						
D 問題解決力			「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分析・ 整理し、目的に応じた活動案が作成できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。						
H コミュニケーション力			造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感でき、 相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト: 0 %		レポート: 30 %		発表: 30 %		実技試験: 30 %		その他: 10 %	
特記事項: 特記事項: ・事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。 ・成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内での発言。実技試験はロールプレイングの理解と実践力。その他は積極性を指す。 アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、 <u>フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表・実技は毎時間毎に実施する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題提出時に振り返りのコメントを伝える。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な 時間(分)			
①【岡野】授業ガイダンス			4月11日						
②【北澤】臨床美術基幹Ⅱ「臨床美術研究成果」			4月18日		【復習】授業内容のテキストを熟読 30分				
③【北澤】臨床美術アートプログラム制作「思い出の空」			4月18日		【復習】制作の感想・水彩の使い心地を 記入 60分				
④【岡野】臨床美術アートプログラム制作「土偶」			4月25日		準備物: 4~5cmの石1個				
⑤【岡野】臨床美術アートプログラム制作「石のアナログ画」			4月25日		準備物: こぶし大の石1個				
⑥【北澤】臨床美術アートプログラム制作「アジの干物を描く」①			5月2日		【復習】制作の感想・アクリル絵具の 使用について 60分				
⑦【北澤】臨床美術アートプログラム制作「アジの干物を描く」②			5月2日		【復習】ミクストメディアを含む制作の 感想を記入 60分				
⑧【岡野】臨床美術学演習 「つまづき、ルービンの壺、純粋輪郭画、修正輪郭画」			5月9日		【予習】デジタルマツ、フリー実習(計画 書) 【予習】90分 【復習】60分 準備物: 鉛筆(2B、4B)3本 【復習】演習を振り返る				
⑨【岡野】臨床美術学演習「白と黒の魔術、右脳の見方、きみ子方式」			5月9日		【予習】クレーの模写 120分				
⑩【北澤】臨床美術教材研究「共同制作」			5月16日						
⑪【岡野・北澤】アートプログラム実践演習「感情のアナログ画ロールプレ イング」①			5月23日						
⑫【岡野・北澤】アートプログラム実践演習「感情のアナログ画ロールプレ イング」②			5月23日						
⑬【北澤】臨床美術教材研究「アートプログラムにおける造形素材」			5月30日		【復習】造形素材の探索 120分				
使用テキスト: 使用テキスト: 『臨床美術士養成講座4級』、芸術造形研究所 『臨床美術 認知症医療と芸術のコラボレーション』、芸術造形研究所					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「臨床美術」の単位を取得し、臨床美術士4級取得について担当教員と相談の上、受講することができます。 4月13日の授業ガイダンスで授業の内容と日程について説明します。受講者は欠席しないようにしてください。 本科目は2コマ続けて行う授業になります。また開講日も不規則なため、授業日をよく確認してください。 ※本科目は事前課題が多い科目です。課題の提出日を常に確認してください。提出日直前に事前学習では対応できませんので、毎回計画的に進めるようにしてください。(事前・事後学習課題の欄には提出日のみを記載してあります。)									